

2012年9月8日 開催 予防医学・住環境 研究会

一日のうち建物の中で過ごす時間は20時間を超えています。これほど建物の中にいる時間が多いのですから、それが自宅であれ、職場であれ、その建物の場が大きく心身の健康に左右すると考えられます。

予防医学とは「病気になる前に、病気になりにくい心身を作る。病気を予防し、健康を維持する」という考え方に基づいている医学です。

東洋医学的な考え方をベースに、住宅としての環境がいかに人間に影響を及ぼしているのかを分析し、その繋がりを明らかにします。

- なぜ今、建築医学なのか
- 脳科学からみた建築医学
- 生命場に影響を与えるものは全て考慮するのが建築医学
- 脳と身体と環境との相関関係

講師:小神脩岳 プロフィール

予防医学・住環境研究所所長。東京大学工学部建築学科卒業。大学在学中に、人間と建築のつながりを明らかにする建築医学に出会い、「これこそが建築の本質だ」と確信し、集中的に建築医学を学ぶ。環境科学として建築医学の考え方に共鳴し、さらに科学的かつ実践的に建築環境と人間のつながりを明らかにし、より豊かな環境づくりを目指して予防医学・住環境研究所を設立し、啓蒙活動を行っている。

日時

9月8日(土)
14:00 受付開始
14:30~16:00 研究会
16:00~17:30 懇親会

定員

30名

会場

東京大学伊藤国際学術研究センター
(中教室2F)
〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1

参加費

3,000円 (懇親会参加費は別途2,500円)



東京メトロ丸の内線
本郷三丁目より徒歩8分
都営地下鉄大江戸線
本郷三丁目より徒歩5分
東京メトロ千代田線
根津駅より徒歩15分
東京メトロ南北線
東大前駅より徒歩15分

お申し込み お問い合わせ

予防医学・住環境研究所
東京都世田谷区成城7-14-12 TEL/FAX 03-3484-8868

氏名	E-mail
住所	ご職業
連絡先	<input type="checkbox"/> 研究会 <input type="checkbox"/> 研究会・懇親会